

# 「ダウン症」のあるみなさんへ

JDS 財団法人 日本ダウン症協会より



## 新しい検査のニュースを見ましたか？

このごろ、テレビや新聞で、「ダウン症」という言葉がたくさん使われていますね。アナウンサーの人が「ダウン症」と言うのをよく聞くとおもう思います。

今、日本で、お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんが「ダウン症」かどうか調べるための新しい検査が始まろうとしています。

テレビや新聞では、「ダウン症」といっしょに、「中絶」という言葉も出てくることが多いですね。「中絶」というのは、赤ちゃんが生まれてこないようにすることです。

## ダウン症でいいんだよ！

こうしたニュースなどを見たり聞いたりすると、「ダウン症」は生まれてくると困ると言っているように思えます。それで、「ぼくは（わたしは）生まれてこないほうがよかったの？」とわたしたちに聞いた人もいます。

いいえ、決してそんなことはありません！

わたしたちは、みなさんが生まれてきたことに心から「おめでとう」と言います。みなさんがわたしたちの家族や友だちとしてそばにいてくれることに心から「ありがとう」と言います。

みなさんは、勉強が苦手だったり、仕事が上手にできなかったりすることがあるかもしれません。でも、それは、どんな人にもあることです。

みなさんは、「ダウン症」のない人と同じように、泣いたり、笑ったりしながら、家族や友だちと暮らしていますね。

## だいじょうぶ！ なにも心配しないで

ニュースなどでなにを言われても、みなさんがはずかしいと思うことはありません。これまでどおり、ふつうに暮らしていけばいいのです。

みなさんは、毎日、自信をもって生活してください。みなさんがいてくれるので、わたしたちは元気になれます。わたしたちは、世界中の人たちに、みなさんのことをきちんと伝えていきます。

だから、なにも心配しないでくださいね。